

京 上京 探訪

～語り部と歩く1200年～



天神様のお膝元！近代文化の発車駅・仁和を巡る

～日本映画の礎から市電北野線跡、妖怪ストリートまで～

仁和学区は、最北部は今出川通、南は丸太町通の一部、東は千本通の一部、西は紙屋川までの広範囲におよびます。洛中の西端にあり、近世には新寺町や遊所が形成。明治期には映画の撮影所が建ち、市電が通って商店街が発展、近代文化揺籃の地として脚光を浴びることになります。近代文化の発車駅・仁和に乗り込んで、ハイカラ時間旅行に出発しましょう。

①天神川(紙屋川)

平安時代には、東の堀川に対し、西堀川と呼ばれていました。近世までは紙屋川の名が一般的で、これは朝廷の製紙所である紙屋院が、この川のほとりにあったことに由来しています。豊臣秀吉の御土居築造に際し、京域西側の境界となり、現在も上京区と中京区・北区の区境をなしています。

②法輪寺(達磨寺)

享保12年(1727)開山。三国一を称する起上り達磨をはじめ、諸願成就に奉納された達磨およそ八千余体を祀るため、達磨寺とも呼ばれています。本堂には、日本映画の関係者四百余霊が祀られる真寧磨(きねま)寺や、島津製作所の創業者・島津源蔵夫妻の念持仏を祀る学神堂などがあります。

③一之保社 安楽寺天満宮

中世、仁和学区の多くは北野社の支配地で、北野御供所七保社を中核に神人たちが町を形成していました。一之保社はその七保社の一つで、菅原道真の霊を筑紫より祀ったと伝えられ、とくに中心的町を形成していたようです。明治6年(1873)、同町内にあった文子天満宮とともに北野天満宮に移されましたが、近年有志たちが北野天満宮から分祀して、現在の小祠を建立しました。

④奥溪家住宅

奥溪家の初代が、東福門院の侍医として入京した際に授けられた下屋敷です。奥溪家は仁和寺宮門跡の御典医も務めた医家で、現在も製薬販売をしています。茅葺の長屋門、2階建瓦葺の母屋はともに京都市指定有形文化財です。

⑤法華堂(ほっけんどう)撮影所跡

日本最古の映画会社のひとつであり、日本初の時代劇映画「本能寺合戦」を製作した横田商会が明治45年(1912)に建設した、京都で2番目の撮影所です。二条城撮影所から移転してきました。名称は南接していた十如寺(通称:法華堂)に由来しています。建設当時、約600坪の敷地周辺は大根畑で、いくつかの寺社以外、民家は一軒もなかったといわれています。竣工半年後、横田商会は国家当局の要請を受けて他3社と合併、日活(日本活動写真)となり、撮影所の名前も「日活関西撮影所」となりました。主に「日本映画の父」牧野省三監督、「日本最初の映画スター」尾上松之助主演の映画が撮影され、6年間に400本以上撮影、ピーク時には3日に1本のペースで製作されたといわれています。大正7年(1918)、大將軍に約2000坪の撮影所が建設され移転しました。



⑪千本日活

日本最初の職業的映画監督である牧野省三が経営していた劇場・千本座が前身です。千本座で活動写真(映画)の興行をしていた横田商会の横田永之助から、映画製作を依頼されたのが、牧野が映画を撮りはじめるきっかけとなりました。昭和30年代に、千本一条上から現在地に移転。昭和30年代後半頃までの千本中立売界隈は、映画館が10軒以上建ち並び、新京極と並ぶ歓楽街として人の波で溢れていたといわれています。

⑩五番町

豊臣秀吉が聚楽第を造営した際、武士たちを集住させるために、一番町から七番町まで組屋敷町を形成したのが、町名の起源です。江戸中期には、北野天満宮や愛宕山参詣者を客として、茶屋がみられるようになり、やがて上七軒の出先として遊里商売が免許されました。明治に入り五番町遊郭として独立。女紅場を設置し、戦前までは芸妓と娼妓両方がいましたが、やがて娼妓本位となり、昭和33年(1958)売春防止法により廃されました。水上勉の「五番町夕霧楼」の舞台としても有名です。

⑨北野商店街

それまで堀川中立売止まりだった京都電気鉄道が、明治33年(1900)に下ノ森まで、明治45年(1912)には北野天満宮まで開通します。それに伴い中立売通が千本通以西に延伸。途中で一条通に接続する電車通り沿いに、北野商店街が形成されました。天神さんの門前町として、西陣の台所として発展し、現在約100軒の店舗が軒を連ねています。

⑥大將軍商店街(妖怪ストリート)

平安京の北西に都の方除け守護として建立された大將軍八神社、その門前的一条通沿いの商店街です。一条通で付喪神たちが百鬼夜行したという伝説をもとに、平成17年(2005)「妖怪ストリート」と銘打った町おこし活動を開始。各店の前に妖怪オブジェを設置したり、天神通一条下るに「百鬼夜行資料館」を開設したりしています。

⑦下ノ森

明治維新前、この一帯は下ノ森と呼ばれ、北野社領に属していました。新建町、西町、東町、三軒町の地に下ノ森遊郭がありましたが、京都電気鉄道の開通と貸座敷取締規則の改正により、大正期に廃されました。昭和41年(1966)まで北野天満宮一ノ鳥居がこの地にあり、門前南側に露天商が発展、やがて西陣露店組合を結成します。現在は北野下の森協同組合の店が並んでいます。

⑧仁和小学校

明治2年(1869)に設立された第八番組小学校(後、殷富小学校に改称)と第九番組小学校(後、安嘉小学校に改称)が、明治26年(1893)に合併、仁和尋常小学校が開校しました。校名は、かつてこの地に仁和寺門跡二世信入道親王の仁和寺新堂があったことに因みます。校内の植え込みの中に、「是より洛中荷馬口付のもの乗へからず」と記された標石が3本あり、これらは一条通大將軍や下立売通紙屋川など、学区内にあったものを移したといわれています。

【注意事項】 このマップは、まち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。
 【主催】 京都市上京区役所 【共催】 まいまい京都 <http://www.maimai-kyoto.jp/> 【発行】 京都市上京区役所区民部総務課 京都市印刷物 第234861号 【お問い合わせ】 京都市上京区役所区民部総務課 電話:075-441-5029